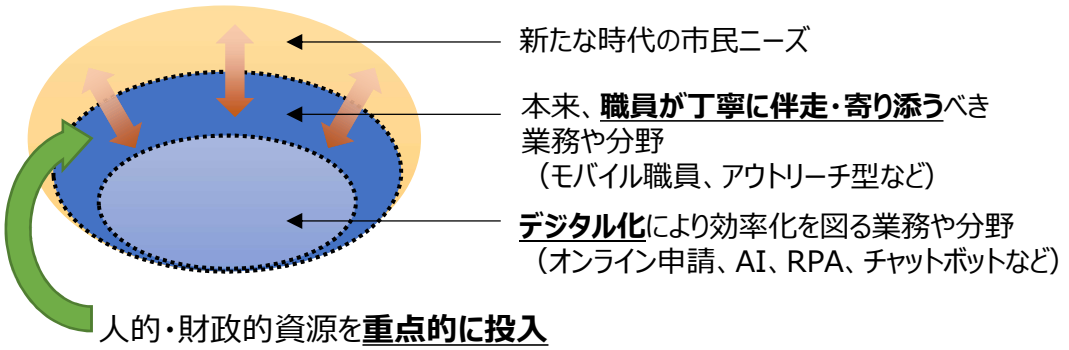


これまで 行政・庁舎の在り方そのものの議論

目標 市民の利便性・満足度（*）の向上 （*）～画一的・大量生産的発想から 伴走型・オーダーメイド型行政へ～

目指すべき 行政の姿



コロナ禍により加速

社会情勢の劇的な変化 デジタル化、オンライン化、場所や移動に対する概念の変化

新しい生活様式 非対面・非接触、新しい働き方

場所や時間にとらわれない
新しい時代の行政の姿を描いていく

柔軟性

但し、その変化は段階的であり、**現状必要**となる機能・規模は**引き続き存在**する

行政の拠点としての庁舎について
大規模なものが必要かどうか

縮小性

中長期的な**社会情勢の変化**を見据えることは**非常に困難**

将来世代にとって**過度の負担や制約**を課することにならない視点が重要

将来 これまでと同じような庁舎という**建物**は必要か？